

# 生産活動

## グリーン調達

製品が環境に配慮したものであるためには、その材料や原料に関しても環境に配慮したものでなくてはなりません。また当社の生産プロセスだけでなく、原材料の購入先のプロセスも環境に配慮したものでなくてはなりません。FDKはこうした考えから、グリーン調達を進めています。

具体的には、EMS(環境マネジメントシステム)を構築した取引先様からの調達を実施する一方、当社で定める指定禁止物質および調査対象物質(計140物質)について、その含有の有無等を調査した上での調達を推進しています。

2003年度は、8月に改訂した「FDKグループグリーン調達ガイド」に基づき、取引先様に対し、環境マネジメントシステムの構築や指定禁止物質の含有がないことなど当社のグリーン調達基準への理解を進め、同基準に適合した調達を実施いたしました。

この結果、第二期環境行動計画に対しては、目標を達成することができました。

### 事務用品のグリーン購入

FDKでは、生産資材に関するものばかりでなく、事業所の制服(2000年6月から国内全工場で使用済みペットボトルをリサイクルして作られた制服を採用)や事務用品等についても省エネ性能、リユース性、リサイクル性、有害物質回避など環境に配慮した事務用品を選択し購入しております。

2003年度は、再生紙への切り替えや環境マークの表示された事務用品への購入の徹底により、第二期環境行動計画に掲げた目標を達成することができました。

### 指定禁止物質を含有しない原材料の調達

FDKでは、欧州のWEEE/RoHS指令など、世界各国での電子機器に使用する有害な化学物質を規制する動きにも対応し、環境に配慮した原材料の調達を行っています。具体的には購入している原材料、部品、包装材料等の生産用資材に含有している環境負荷化学物質についての調査を実施し、この調査結果を「FDKグループ環境負荷化学物質データベース」(ECO-DB)に取り込み、基本情報の把握と指定禁止物質含有の廃止・削減に努めております。

さらに子会社の(株)富士電化環境センターではヨーロッパでの特定化学物質の使用禁止などを受け、同物質の含有の有無を分析調査するため、「蛍光線分析装置」や「ICP分析装置」を活用してお客様のご要求にお応えしています。(P23 富士電化環境センター事業紹介参照)

### 取引先様への支援活動

環境マネジメントシステムを構築していなかった取引先様に対しては、環境への取り組みの意義、環境マネジメントシステムの内容などの説明および指導会を開催し、同システム構築への支援活動を行なうことで取引先様各社の環境への取り組みの一助となるよう努力いたしました。



取引先様への説明会風景

### グリーン調達実績

対象品	目標値(2004年3月末)	実績値(2004年3月末)
部品・材料 (原材料、部材、包装材料)	グリーン部材の調達比率を調達金額の99%以上とする。	99.1%
事務用品	事務用品のグリーン商品調達比率100%達成。	100%

## 「FDKグループ環境負荷化学物質データベース ECO-DB」の構築

FDKでは環境に配慮した原材料の調達及び環境に配慮した製品設計を支援するために、「FDKグループ環境負荷化学物質データベース ECO-DB」を社内にて開発しました。

調達品に含まれる環境負荷化学物質の調査データを社内で管理・共有化することで、有害物質の削減に努めています。さらに、製品の部品構成データをもとにFDK製品への含有情報を一括集計することで、グリーン製品の開発を支援しています。また、お客様からの含有化学物質調査にも活用しています。

ECO-DBでは使用禁止物質・削減対象物質を含め、現在140物質のデータを管理しています。

ECO-DB運用概念図

